

ロシアのヤクーチアで発生した大規模な森林火災が排出量の記録を更新



EUの衛星観測ユニット「コペルニクス」によると、ロシアのシベリア地方ヤクーチアでは、夏の山火事による二酸化炭素の排出量がすでに記録的な量に達しているという。環境保護運動家たちは、暑い気候に煽られた火災がシベリアの永久凍土や泥炭地を溶かし、長い間凍ったツンドラに蓄えられていた炭素をさらに放出するのではないかと懸念している。これまでのところ、今年の火災はヤクーチアで420万ヘクタール以上を焼き尽くし、今週、何千キロも離れた北極点まで巨大な煙を送り込んでいる。

記事参照：Vast wildfires in Russia's Yakutia have already set an emissions record - ArcticToday (2021.8.4/Arctic Today)

→Pulses of fresh glacial meltwater and nutrients provoke summertime phytoplankton blooms in the waters off western Greenland. (NASA Earth Observatory)

北極圏の海の変化を示唆する植物プランクトンの大発生



北極海では、春から夏にかけて、さまざまな種類の植物プランクトンが大量に発生する。これは、氷が後退することで、陸上の植物と同じように日光と栄養を必要とする浮遊植物のような生物が、十分な日光を浴びることで爆発的に増加するために起こる現象である。

記事参照：Phytoplankton blooms hint at changing Arctic waters - ArcticToday(2021.8.2/Arctic Today)



米国、中国、ロシアが 北極圏での漁業規制に関する 共同研究を計画



米国、中国、日本、ロシアの4カ国は、北極海での漁業について、国際的なルール作りのための共同研究を計画している。日経新聞によると、9カ国と欧州連合（EU）の代表者は、来年初めに韓国で会合を開き、他の地域を対象とした同様の条約に基づく漁獲割当量を議論する予定だという。早ければ2022年に発効する可能性のある漁獲割り当てを皮切りに、グループは持続可能な漁業を実施するためのガイドラインを徐々に拡大していく意向だ。

記事参照：US, China and Russia plan joint research aimed at regulating Arctic fishing - ArcticToday (2021.8.2/Arctic Today)

記録的な冬の風が、 古い北極海の水氷を 融解ゾーンに吹き飛ばす



2020年の冬、北極海の古い水氷は、異常な風によって不安定な状態に陥った。温暖化した海では、北極圏の古い氷が減少し、融解の危機に瀕している。なぜこのような事態になったのか、そしてなぜ古い氷が重要なのか。

記事参照：Record-breaking winter winds have blown old Arctic sea ice into the melt zone - ArcticToday (2021.8.10/Arctic Today)

世界最北端の島を訪ねて わかること



科学者とアーティストの探検隊がグリーンランド北岸にあるオーダーク島を訪問。

「この場所の変化があまりにも速いため、私たちの世界観、つまりこの場所がどうあるべきかという集団的な考えを、景観の変化と同じ速さで適応させることができないのです。どこでも起こることでありながら、ここではより速いスピードで起こっているこれらのプロセスを見ることは本当に重要なことなのです。極地は、未来を見通すための虫眼鏡なのです。」

記事参照：What we can learn from a visit to the world's northernmost island - ArcticToday (2021.8.6/Arctic Today)



Henrik Lassen, chief logistician for the Leister expedition, builds a cairn on Oodaaq Island in which expedition members left a message with details of their visit. (Christiane Leister)

中国砕氷船が北極点へ出航 北極海嶺探査



中国の砕氷船「雪龍2」は、7月12日に上海を出港した後、2回目の北極圏航海を行い、ガッケル海嶺で科学調査を行う予定。約3ヶ月半の間に約15,000海里を航行する。国営メディアのCGTNによると、中国の第14次5カ年計画期間（2021年～2025年）において、同地域への初の科学的航海となる。

記事参照：Chinese icebreaker sails to North Pole, explores remote Arctic ridge - ArcticToday (2021.8.12/Arctic Today)

大規模な気候変化と 新石油開発ーアラスカ州 ユーコン・フラッツ地域



気温の上昇、湖の減少、大規模な山火事の頻発、南方から移動してくる動物種。アラスカ大学フェアバンクス校は、アラスカ北東部の北極圏にまたがる全長2,000マイルのユーコン川のほぼ中流域にある生態学的に重要な地域、ユーコン・フラッツ地域について、これらの気候変動やその他の変化を詳細に報告した。このような変化のなか、ユーコン・フラッツでは石油とガスの予備的な探査が行われている。

記事参照：Alaska's Yukon Flats region is seeing major climate-driven changes — and new oil exploration - ArcticToday (2021.8.17/Arctic Today)

国連気候変動報告書が警鐘 「人類への赤信号」



国連の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)は月曜日、地球温暖化が制御不能に近い危険な状態にあること、そしてその責任は「明らかに」人間にあることを世界に向けて発表した。同報告書は、すでに大気中の温室効果ガスの濃度は、数世紀とは言わないまでも、数十年にわたって気候の混乱を保証するのに十分なレベルに達していると警告している。つまり、すでに起きている致命的な熱波、巨大なハリケーン、その他の極端な気象現象は、より深刻になる一方だという。

記事参照：U.N. climate change report sounds 'code red for humanity' - ArcticToday (2021.8.9/Arctic Today)

スウェーデンのHYBRIT社が 世界初の脱化石鋼を実現



スウェーデンのグリーン・スチール・ベンチャーHYBRITは、世界の温室効果ガス排出量の約8%を占める産業の変革を目指し、石炭を使用せずに生産した鉄鋼を世界で初めて顧客に納入したと水曜日に発表した。

記事参照：Sweden's HYBRIT delivers world's first fossil-free steel - ArcticToday (2021.8.18/Arctic Today)

『北極域実践コミュニティ VOICES from the ARCTIC』は、北極域実践コミュニティの情報発信の活動の一環として、北極域の多岐にわたる社会的課題やその解決に向けた取組に関連するニュースを集めて、ダイジェストしたものです。北極域の社会的課題と世界的な課題との関連性を示すため、国際連合『持続可能な開発目標（SDGs）』の17の目標との対応関係を各ニュースに付しています。今回のVol.8は、2021年8月のニュースを主に掲載しています。



Arctic Challenge for Sustainability II

